

はじめに

大学に入ったら使える英語を身につけたい、と考えている頼もしい人がたくさんいると思います。入試が終わったのでもう英語は勉強したくない、という人もいるかもしれません。英語はたしかに使う道具であり、勉強する科目ですが、それ以前に人の言葉であることにお気づきでしょうか？英語は日本語と同様に、人と人が心を通わせるための言語です。特に英語は国際語になっていますので、アジア人同士が本当の友達になるためにも必須の言語です。英語を勉強したくないという気持ちがあるとすると、英語を暗記科目と思っていて、人の言葉として実感できないからかもしれませんね。

右の地図を見てください。現生人類は、アフリカで生まれ、7万年ほど前にアフリカを出て世界に広がったといわれています。日本人の祖先が、東の果てにたどりついて生まれたのが日本語です。それに対して、北西の果ての島国で形成された言葉が英語です。アメリカ大陸を除けば、世界の両端で生まれた2つの言語が、文構造においても、発音においても、大きく異なるのは当然です。



それにもかかわらず、巷に溢れる英語のおかげで英語を身近に感じてしまい、日本語との根本的な違いに思いが至らないということが、日本の社会の中で起きていないでしょうか？

英語と日本語では、語順が違います。品詞の概念も違います。実は、その違いを押さえて勉強すれば、英語はそんなに難しいものではないのです。英語は歴史的に、1100～1500年頃に文法の簡素化が起こった言語であり、他のゲルマン諸語（ドイツ語、オランダ語など）と比較して、学び易い言語です。現代英語は、簡素化された結果、

- ・語順（英語の5文型など）が重要で、文の意味の基本が、語順で決まる
- ・前置詞句が発達しており、多用される

という特徴があります。この『大学英語の基礎』は、英語の特徴と日本語との違いを押さえ、効率よく学習する方法を提供します。英語の語順のもととなる語句のつながり、さらには複雑な英文の構造も明解に示すように工夫された記号を使うので、「英語の見える化」と称しています。記号を付けながら英文を読むことにより、英語を英語として理解する力がついていきます。英語の本当の基礎を身につけて、英語を人の言葉として理解し、論文を正確に読み、文学に感動できるようになりましょう！